

外村義郎 結城 牧師 明治五年五月十日滋賀縣犬上郡彦根生れ、昭和十四年五月十五日没（六七一―九三元）。彦根第四區戸長森田登平の次男。明治二十一年上京、親戚の官僚西村捨三の家へ食客となり、捨三の紹介で銀行に勤務、傍ら東京商業學校に通ふ。翌年初めてキリスト教を知り、二十三年受洗、爾來個人傳道に乗り出す。押川方義に出會ひ、二十八年牧師となつて札幌日本基督教會に赴任、のち神戸、岐阜、臺灣等へ活動。三十年基督教傳道義會を創設した。

著書に、『自傳「我が傳道」の生涯を語る』を（含む傳道文書『神を求むる人々へ』（昭和七年二月二十日アルパ書店）。木岡甲子男著『傳道の使徒外村義郎』（昭和十四年七月一日教文館）がある。

